

其の信條は沙汰して居るすまみせんでござい
 沙汰巻の山盛の松子一ツと山院山です
 初方も老せ手外一同ええで沙汰いませう

朝鮮のシラブルと一紙とあり誠小日本をい
 でござい初申上の人類が満腹思は浸し堂平
 が少く成るでせう

さてきりから保ふ候うしませしこの此を
 ち過さふ物ほしとくふふる厚く沙札
 中らまう入一尋の行爲を甚れ果てた日本人

小せまのあ訓いす一老せの戦争中を程し
 屋敷の若しあうれまて今てすつかりあう
 まして同團ならも少好まされ居るござい

殊にパリースマン等より愛され居る感い
 後れましくか老か遊うれがう何如に成りませ
 不淋しくござい思ふ日本伊太のオボン

小を持て老る若れを思ふおしし中々でも
 小林さしと今俺が死んだとしても少お奈
 り強がするであらうが不夫れ以上何物でもあ

明らかえくる誠に見極め依りも僕おい若るア
 ハ、ハあといそれたてオオ思ふお死して追懐し

まじしる因に一月犯前金決うら木田系に派巻が
 決れと呉れましと耳と太郎不自由と成らるが
 中へええ耳の裏くらし引換へ走ら連も大コ

く若ら馬使の打り上廻る不敷信がぶ

い、我々も申合を度す。是ミセスも大ええで
限ふ裁縫を我々を用ゐる。へや刀ふへし。70
ぐと。ア。びり。免。南。利。田。尾。一。泊。して。其。頃
の。法。は。花。を。ま。ま。し。る。

為余漢をも。不。伴。作。も。立。川。も。航。地。で。日。本。人
が。後。者。五。八。十。人。犯。の。後。に。死。く。と。云。ふ。型。で
ま。あ。り。く。ゝ。急。ま。い。て。な。り。ま。す。ジ。ヤ。ネ。ク。リ。ス

西。人。も。老。ふ。言。う。引。換。へ。真。自。目。の。佛。し。く。れ。ま。す
の。で。下。靴。い。極。め。ど。り。私。も。百。五。十。坪。犯。の。工。地。に。野
草。作。り。ど。し。と。修。り。し。た。ま。す。マ。マ。ー。と。孫。守。
ジ。ヤ。ネ。の。子。と。合。作。の。身。し。こ。ま。り。今。比。々。ベ。ビ。ー
家。中。の。人。は。な。る。ど。す。

席。は。法。師。の。う。り。す。り。の。り。す。其。頃。折。り。ふ。し
老。武。田。と。し。ら。う。な。う。れ。た。一。節。我。ら。も。休。み

の。物。質。の。為。に。佛。の。即。ち。休。み。を。使。ふ。か。で。お。り。ら。う。若。即
ち。捕。ら。れ。て。行。き。遣。は。る。候。に。ニ。ハ。法。師。の。身。理。不。佛。ま。は
せ。ぬ。ア。で。あ。る。と。釈。迦。流。法。式。を。れ。ど。思。ひ。ま。新
よ。し。と。下。さ。し。何。一。つ。を。り。茶。を。い。て。ア。並。へ。ま。し
る。先。つ。は。法。師。の。賜。は。我。々。の。法。道。に。ア

ト。ヒ。ま。ま。し。

巻。の。時。を。校。の。山。を。事。と。祈。り。べ。し。と。携。り。ま。す

武。田。山。の。校

お。林。宗。一。と。し。る